



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2012年 4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

「公益財団法人 日本太鼓財団」に名称変更！

当財団は、4月1日付をもって「公益財団法人日本太鼓財団」に名称を変更いたしました。これは、公益法人改革により「公益財団」又は「一般財団」に移行することになり、当財団では公益性の高い団体に対して認定される「公益財団」として内閣府に対して申請していたものが認定されたものです。

公益認定を受けたことにより社会からの評価は一層高まることとなりますが、より公益性の高い事業運営が求められることにもなり、これまで以上に日本太鼓の普及・振興に尽くして参る所存でございます。また、これに伴い支部の名称は代議員会での意見を反映させ、今後「日本太鼓財団〇〇県支部」となります。公益財団法人を頭に用いることは法律上禁止されておりますのでご注意ください。

また、あわせて会員組織規程を一部改正いたしました。これまでの規程では支部が未組織の地域にある団体及び支部に未加盟の団体を「特別会員」として取り扱ってまいりました。

これを新規程では、「特別会員」は、太鼓活動に特に貢献があると運営委員会で認められた団体のみとなり、支部が未組織の地域にある団体は、「一般会員」となります。(この場合、移行の手続きは必要ありません。)

したがって、現在支部がありながら支部に未加盟の団体は、支部に加盟していただくことになりました。

これまで支部に未加盟で「特別会員」として活動して頂いた団体の皆さんは、至急支部に加盟されるようお願いいたします。

新法人としての最初の理事、評議員は、次のとおりです。

なお、理事の任期は2012年4月1日より2年以内に終了する最終の評議員会開催までとし、評議員並びに監事は4年後に開催する評議員会までとなります。

＜理事＞

会 長 松本 英昭(地方公務員共済組合協議会会長)

副会長 浅野 義幸((財)浅野太鼓文化研究所)

長谷川 義(全九州太鼓連合会長)

理事長 塩見 和子((公財)日本音楽財団理事長)

常務理事 中西 由郎(常勤)

理 事 ☆石井 幹子(石井幹子デザイン事務所取締役社長)

大宅 映子(評論家)

児玉 利夫(兵庫県支部名誉会長)

島津 久永((公財)山階鳥類研究所理事長)

西角井 正大(日本大学大学院芸術学研究科講師)

三隅 治雄(東京文化財研究所名誉研究員)

山内 令子(社会福祉法人富岳会理事長)

監 事 ☆池田 靖(弁護士)

長内 健(弁護士)

＜評議員＞ 大竹 英雄((公財)日本棋院理事長・名誉基聖)

岡田 知之(洗足学園音楽大学名誉教授)

北村 汎(元駐英大使)

河野 和義(岩手県支部顧問)

佐藤 淳子((一財)ライブラリニングセンター理事)

高島 肇久((株)日本国際放送特別専門委員)

浜田麻記子((株)アターレビジョン取締役社長)

富治林 浩(京都府支部長)

松本源之助(東京都支部長)

宮崎 義政(千葉県支部長)

脇元 勝己(鹿児島県支部名誉会長)

渡辺 貞夫(音楽家)

注：☆印は新任

第14回日本太鼓ジュニアコンクール

～群馬県前橋市で開催！～

「輪島・和太鼓 虎之介」が2度目の栄冠に輝く



(選手宣誓：「和太鼓大元組」江坂香織さん)

3月25日(日)、(財)日本太鼓連盟主催、群馬県支部主管により第14回日本太鼓ジュニアコンクールを群馬県前橋市のベシア文化ホール(群馬県民会館)において開催いたしました。内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指して全国33都道府県(予選実施34支部380チーム4,108名、支部推薦等2チーム)から選抜された46チーム591名(最年少6才、出場者平均年齢13.8歳)が出場しました。

開会式は、優勝旗を持った前回優勝チーム「ZENKAI太鼓『和』」(大分)とブラジルの優勝チーム「クリチーバ若葉太鼓」、今大会が2度目の参加となる台湾の優勝チーム「天祥の太鼓」を中央に、全チームが整列して行われました。

国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟塩見理事長、群馬県より池本武広副知事、前橋市より山本龍前橋市長、上原群馬県支部長が挨拶。そして、「ZENKAI太鼓『和』」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

続いて抽選で出演順1番目となった東京都代表の「邦楽アカデミー和太鼓大元組」の江坂香織さんが、東日本大震災の復興を祈る堂々とした選手宣誓を行い、次いで長谷川副会長による初っ切り太鼓が演奏されいよいよコンクールが幕を開けました。

今大会から本選に出場することとなった第8回全ブラジル太鼓選手権大会の優勝チーム「クリチーバ若葉太鼓」を含む出場46チームは、大会要領に基づき故小口大八先生作曲による課題曲「翔龍」と自由曲を5分以内で演奏しました。各団体の演奏が終わる度に、チームの頑張りに対して満員のお客様より心からの拍手と声援が送られました。

46チームの演奏の後、第2回台湾太鼓選手権大会の優勝チーム「天祥の太鼓」と前回優勝した「ZENKAI太鼓『和』」(大分)が特別演奏を披露し、全ての演奏が終了しました。閉会式では、審査委員の渡辺貞夫氏の講評と塩見審査委員長より総評があった後、審査結果が発表され、「輪島・和太鼓虎之介」(石川)が栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。

優勝チームが発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手と歓声が沸き起こりました。「輪島・和太鼓虎之介」は、長野県で開催した第8回大会に続き2度目の優勝となりました。

12歳から18歳までのメンバー11名で構成されたチームで、二木代表の下、練習を積み重ね、見事、優勝に輝きました。また、「源流はさま太鼓」(大分)が準優勝として総務大臣賞を受賞、第3位の「熊本市立必由館高等学校和太鼓部」(熊本)が文部科学大臣賞を受賞いたしました。

出場全チームがこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回も前回に引き続きインターネットによる全世界生中継を行い、会場に来られなかった方々や外国の太鼓愛好者等から大変好評を博しました。開始直後よりブラジルなど海外からも感想などの書き込みが寄せられました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、特別出演の「ZENKAI太鼓『和』」の皆さん、ご父兄並びにご来場の皆様、そして参加者のために行き届いた心配りをして下さった150名近い群馬県支部スタッフ・ボランティアの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

審査委員

塩見 和子(財団理事長)*審査委員長
 王 妙 涓(台湾太鼓協会理事長)
 岡田 知之(洗足学園音楽大学名誉教授)
 西角井正大(日本大学大学院芸術学研究科講師)
 長谷川 義(財団副会長)
 濱田麻記子(株シアターテレビジョン取締役社長)
 古屋 邦夫(技術委員会委員長)
 渡辺 貞夫(演奏家) (五十音順・敬称略)

第15回大会は、石川県金沢市で開催!

第15回日本太鼓ジュニアコンクールは、来年2013年3月24日(日)、石川県金沢市の「金沢歌劇座」にて開催致します。

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞	輪島・和太鼓 虎之介(石川)
準優勝・総務大臣賞	源流はさま太鼓(大分)
第3位・文部科学大臣賞	熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本)
第4位	太鼓研修センター「響」(宮崎)
第5位	火の神乙女太鼓 爽(鹿児島)
特別賞	飛龍高等学校 和太鼓部(静岡)
群馬県知事賞	群馬県立藤岡中央高等学校和太鼓部「ひびき」(群馬)
群馬県教育委員会教育長賞	おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
群馬県議会議長賞	厚別本陣はまなす太鼓(北海道道央)
前橋市長賞	比屋根華太鼓(沖縄)
前橋市教育委員会教育長賞	轟 太鼓道場(宮崎)
前橋議会議長賞	クリチーバ若葉太鼓(ブラジル)
NHK前橋放送局賞	輪島 高洲太鼓(石川)
株式会社上毛新聞社賞	和太鼓 凧(千葉)
株式会社群馬テレビ賞	不知火太鼓(佐賀)
株式会社浅野太鼓楽器店賞	山城ノ国 和太鼓 鼓粋(大阪)
ブラジル太鼓協会賞	やまばと太鼓(秋田)
台湾太鼓協会賞	クリチーバ若葉太鼓(ブラジル)
日本太鼓連盟特別賞	天祥の太鼓(台湾)
日本太鼓連盟特別賞	

*優勝した「輪島・和太鼓 虎之介」(石川)から感想文をいただきましたので掲載致します。

輪島・和太鼓 虎之介 代表 二木 尚之

今回の優勝に多くの方々から激励やご協力を頂き感謝いたしております。

平成12年に石川県輪島市に「和太鼓の新しい風を」の思いを胸に5名で組太鼓に取り組み、イベントなど積極的に参加させて頂くにつれて多くの方々に見ていただく機会が増え、父兄の方々から自分の子供にも教えて欲しいと入会希望を受けるようになりました。そこで、和太鼓を通して子供達の健全育成が出来ないものかと園児から高校生を対象に、「人と人とのつながりを大切に」をモットーとして各施設への慰問・イベントなどに参加させて頂き活動に共感して下さる方も増えて現在40名のメンバーにまで成りました。

今回の大会に参加するにあたり、太鼓を始めた時の思い、私どもの基本であります、「地元のお祭りで太鼓を打てる喜びを忘れず、打ち手が楽しくなければ、観る方も楽しくなれない」との思いで、自然な笑顔、表情がだせるよう、日々練習に励んで参りました。

第8回日本太鼓ジュニアコンクールで、優勝させて頂いた時から、目標として参りました、2度目の優勝の名誉を手にする事で驕る事無く初心に戻り支えて下さいました皆様方に常に感謝の気持ちを忘れず日々、今まで以上の努力を惜しまず一人でも多くの方に認められる団体を目指し、また、多くの方々に和太鼓の楽しさ素晴らしが伝えられるような活動をしていきたいと思っております。

この優勝を手にするまでの期間、私共、「輪島・和太鼓 虎之介」の活動に、全国の和太鼓の先生方、関係各位に、たくさんのご助言、ご指導を頂きました事に深く感謝申し上げます。

また、今大会が、ネット上にて生中継されました事で、優勝発表直後から、地元の皆さんや、会場に足を運べなかったメンバーの祖父母、また、日本の裏側ブラジルからは昨年の大会でご一緒させて頂いた、「オザスコ轟太鼓」の皆様から電話やメールでお祝いの言葉をいただき大変うれしく思いました。今後も、是非続けて頂きたいと思っております。

最後に、大会翌日にお会いできませんでしたがお手紙にて池田庄作先生に優勝をご報告できた事をメンバー一同嬉しく思っております。結成当初より多大なるご助言、太鼓道の精神を惜しむことなくご指導を賜りました、池田先生のご冥福をお祈り致します。ありがとうございました。



(優勝「輪島・和太鼓 虎之介」・石川)

「第14回日本太鼓ジュニアコンクール」に出場して
輪島・和太鼓虎之介 ジュニアリーダー 中岸 海里

私は、悔いのない演奏を第1の目標にし、大会までの練習に励んで来ました。県予選の日は、学校行事が重なった4人のメンバーを除いたメンバーで出場しました。予選に出られなかった4人のメンバーの為に必ず全国大会に出場するんだという気持ちと、「優勝しないと全国には出場しない」と先生方から言われたので、大きなプレッシャーを背負いながら大会に挑みました。結果は念願の優勝を手にする事ができ、全国大会への切符を手にする事ができました。安心もつかの間で、次は「2度目の優勝」という大きなプレッシャーと闘わなければならないと思うと、私には不安しかありませんでした。

今回の自由曲は、地元の祭をアレンジした曲なので、「結果に捕らわれず祭らしく楽しんで演奏すれば、自然と結果が付いて来ると信じて演奏しよう。」と先生から言葉をもらった時、私はとても気が楽になりました。それから練習では、見ている人が、楽しんで輪島の祭の雰囲気を感じてもらえる様、練習に励んできました。そして大会当日、会場に着くと「いよいよ大会が始まるんだ!!」と改めて気持ちが高まりました。自分達の演奏が近づいて来ると同時に、一気に緊張が高まって来ました。が、演奏が始まったと同時に緊張が解れ、楽しく悔いの無い演奏ができました。そして表彰式が始まり、今までなら緊張だらけだったのが今回は平然といられる自分がいて、どんな結果であろうと受け止められるという気持ちでした。それはきっと、本当に悔いなく演奏ができたから、そういう気持ちでいられたのだと思います。そして優勝に虎之介の名前が呼ばれた時は、大きな喜びとまだ実感の湧いてない自分がいました。客席を見ると、今まで応援して下さり支えてきて下さった方々が見え、感謝の気持ちでいっぱいになり涙が溢れて止まりませんでした。

太鼓を通して、人のありがたみや、思いやる心、そして感謝する気持ちが身に付き技術だけでなく、心も成長する事ができました。また、全国各地の太鼓仲間もでき、お互いに高め合いながら、時にはよきライバル、時にはよき友達として付き合ってきたので、私は太鼓に出会えて本当に良かったです。出会いに感謝し、これからも歩んで行きたいと思えます。



(優勝時の演奏)

メンバー 小山 穂乃香

6年ぶりの優勝を目指した全国大会が3月25日に開催されました。6年前に優勝して以来、なかなか優勝できず悔しい思いをしてきました。優勝するためにはどうすればいいのか、どうしたら他のチームに勝てるのかという気持ちが大会に出場するたびに積み重なっていきました。そんな時練習中に先生が「勝つとかそういうことを思わず楽しんで打て。そしたら必ず結果はついてくる。」とチームみんなに声をかけてくれました。私は勝つことばかり思って楽しんで打つという事を忘れていました。それからは楽しんで打つという事を心がけ練習に励んできました。チームもまとまっていき練習もすごく楽しめました。そしてついに本番。私達の出番が近づくとつれて不安や緊張が押し寄せてきました。でも仲間や先生が話しかけたり笑わせてくれたりして、とてもリラックスできました。本番はとても楽しんで打てました。太鼓を打っている間にみんなの顔を見ると全員がとてもいい顔をしていました。終わった後は達成感でいっぱいでした。そして2度目の優勝を手にする事ができました。

まだまだいい演奏ができるようになるために課題があるので、これからも練習を頑張って行きます。

*海外太鼓交流～ブラジル・台湾招請～に関する記事は、紙面の都合上、次号にてご紹介いたしますので、ご了承ください。

＜第43回日本太鼓全国講習会(福岡)開催！＞

2月18・19日(土日)、福岡県支部主管の全国講習会を久山町の「レスポアール久山」において実施いたしました。途中、福岡では珍しい積雪のため暖かい台湾から来た受講生は大喜びでした。事故なく実施できたのは地元福岡県を始め全九州のスタッフの皆様のおかげと感謝しております。

○専門講座 講師

秩父屋台囃子講座 高野 右吉氏
締太鼓鼓講座 渡辺 洋一氏
大江戸助六太鼓講座 小林 正道氏

○基本講座 講師 総合指導 古屋 邦夫氏

3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 松元 和敏氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 9名受験 6名合格(1名認定)
2級検定 36名受験 24名合格(9名認定)
3級検定 14名受験 14名合格・認定
4級検定 37名受験 37名合格・認定
5級検定 77名受験 77名合格・認定

地域伝統芸能復興基金による太鼓への支援広がる ～東北6県と茨城県に日本財団より太鼓購入・修理費用の助成～

前号にてご紹介した日本太鼓財団の姉妹財団である日本音楽財団が保有していたヴァイオリンの名器「レディーブランド」を売却した金額約12億円を日本財団に寄付し、それを「地域伝統芸能復興基金」として東日本大震災により被害を受けた太鼓の新規製作、修理費用として助成するための支援が決定しました。

前号でご紹介した福島県、宮城県、岩手県に続き、新たに青森県、秋田県、山形県と東北6県全てに支援が決定しました。また、広く調査を行った結果、茨城県でも1団体が被災されていることが判明し、支援いたしました。このほかに昨年の7月宮城県の石巻日高見太鼓に太鼓9鼓7,060,427円を支援いたしております。いずれも、日本財団によるヒアリング調査を経て正式に支援が決定されたものです。

支援の内容は、次の通りです。

福島県：18団体	49,582,765円	新規製作 98鼓、	修理 1 鼓
宮城県：12団体	49,941,948円	新規製作152鼓、	修理14鼓
岩手県：6 団体	17,874,646円	新規製作 37鼓、	修理58鼓
青森県：7 団体	19,239,726円	新規製作 49鼓、	修理 9 鼓
秋田県：15団体	5,085,812円	新規製作 3 鼓、	修理45鼓
山形県：2 団体	2,647,914円	新規製作 3 鼓、	修理 5 鼓
茨城県：1 団体	248,000円		修理 3 鼓

以上、支援合計は、7県62団体、支援総額151,681,238円、新規製作351鼓、修理135鼓。

また、東北地区の太鼓以外の伝統芸能関係にも多くの支援を実施しております。

被災した太鼓団体にとって復興への大きな励みとなっております。日本音楽財団及び日本財団には、衷心より厚く御礼申し上げます。

日独交流150周年フィナーレ太鼓公演・加茂綱村太鼓(宮城県) ～ベルリンフィルハーモニーホールで演奏～

昨年は日独交流150周年にあたり、在ドイツ日本国大使館より記念事業フィナーレへの太鼓演奏の協力要請を受けました。東日本大震災後、被災地をはじめ日本全体が復興に向けてつき進んでいることをアピールし、ドイツからの支援に対し感謝を表すため、被災地や東北地方で活動している太鼓団体の加茂綱村太鼓(及川文男代表)の10名と当財団から印出公平事業課長が11月27日より12月3日までドイツに赴き、記念事業に協力してまいりました。

派遣にあたっては、在ドイツ日本国大使館からの助成金に加え、姉妹団体である日本音楽財団のご協力を得て実施することができました。

地元らしさを表現するために、地元仙台に伝わる「仙台すずめ踊り」や「さんさしぐれ」を含めた1時間を超える演奏にフランクフルトとベルリンの観客は魅了されました。

演奏者：加茂綱村太鼓

及川文男(代表)、及川あけみ、伊藤恵子、阿部恵子、伊藤香奈、梅川夏美、川村耕作、川村小花、神白佑樹、小松はるみ

財団：印出公平(事業課長)



(ベルリンフィルハーモニーホールでの公演)



(現地関係者との集合写真)

理事会・評議員会を開催

第32回理事会並びに第29回評議員会が3月16日、東京において開催され、次の事項が審議、承認された。

<理事会>

1. 2012年度事業計画及び収支予算について
2. 2011年度予算変更について
3. 変更定款案の一部修正について
4. 公益財団法人化に伴う組織規程等の制定について
5. 役員退職慰労金支給規程の一部改正について
6. 退任理事・評議員への慰労金の支給について

<評議員会>

1. 2012年度事業計画及び収支予算について
2. 2011年度予算変更について
3. 変更定款案の一部修正について
4. 公益財団法人化に伴う組織規程等の制定について
5. 役員退職慰労金支給規程の一部改正について

平成23年度社会貢献者表彰を受賞！

*大阪府支部の岡田支部長が、(公財)社会貢献支援財団主催の社会貢献者表彰を昨年11月21日に受賞されました。おめでとうございます。喜びを寄稿していただきましたので紹介します。

岡田 博勝(大阪府支部支部長)

この度は、社会貢献表彰を頂くことになり大変驚いています。平成13年より大阪市内の知的障害児の生活施設で、療育の一環として日本太鼓の指導を始めました。日本太鼓連盟主催の全国障害者大会にも出場し高い評価を得るなど根気よく指導を重ねてきました。また、近隣府県の不登校や引きこもり、ニートの青少年の自立支援をする等太鼓の指導を通じて、行動の改善や自己表現の可能性を広げる活動を続けています。

【子供達の太鼓への興味や反応は】

当初は練習がはじまると太鼓の音が怖いと言って走り回る女の子や、話ばかりしてこちらの話を聞いてくれない子供など、小学部から高等部までの子供が、職員とただ、太鼓を叩いているだけでした。

それならと日本太鼓教本をフルに活かし、基礎練習を徹底して行い、立ち方や手の上げ方、振りおろし方、声の出し方など繰り返し練習をすることから始めました。右手がドン、左手がコンと、初めはフレーズを声に出して覚え、それから太鼓を打ちます。出来ない子供に合わせて、出来るまで何度も何度も繰り返し練習をする中で、出来る子供は自信が出てきて出来ない子供の面倒を見るようになります。出来た子供には褒めてやり、出来ない子供には励ますようにしています。そうすることによって全体にやる気が出てきて、難しい曲も自分からチャレンジするようになります。

また、目標を持ち達成することも大切と、日本太鼓連盟主催の全国障害者大会に出場し、日本太鼓講習会にも参加、健常者と同様の検定に合格し、すでに10名が認定級を取得いたしました。

現在は地域の子供達と一緒に、日本の伝統文化である和太鼓を、障害のある方と共に出来るチーム作りを目指しています。

和太鼓は私にとって生き甲斐であり、その生き方を支えてくれたのは家族であり、メンバーであり仲間です。

この受賞は私だけのものではないと思っており、日本太鼓連盟事務局の方、一緒に練習をしている子供たち、いつも応援をしてくれる太鼓仲間の皆さんに心から感謝したいと思います。

私の人生が続く限り、私は太鼓と共に歩む生き方を貫いて行きたいと思っております。ありがとうございました。



(表彰式風景)

事務局だより

第44回日本太鼓全国講習会(岩手県一関市)

*公認指導員更新研修会を同時開催

期日:2012年7月21・22日(土日) 主管:日本太鼓財団岩手県支部

会場:大東コミュニティーセンター(岩手県一関市大東町摺沢字街道下25-3) JR摺沢駅隣接

専門講座:大太鼓講座(単式単打法)

龍連 山氏(山形県)

八丈太鼓講座(単式複打法)

菊池 修氏(東京都)

蘭導太鼓講座(複式複打法)

鈴木 孝喜氏(秋田県)

基本講座:総合指導

古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座

安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座

渡辺徳太郎氏(1級公認指導員)

5級基本講座(初心者講座)

松枝 明美氏(1級公認指導員)

申込先:公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2 Tel 03-6229-5577 Fax 03-6229-5580

2012年度の講習会の予定

日本太鼓全国講習会

第44回日本太鼓全国講習会	2012年7月21・22日	大東コミュニティーセンター(岩手県一関市)
第45回日本太鼓全国講習会	2012年11月17・18日	ホテル郡上八幡(岐阜県郡上市)
第46回日本太鼓全国講習会	2013年3月2・3日	新富町文化会館(宮崎県新富町)

日本太鼓支部講習会

第53回日本太鼓支部講習会	2012年5月26・27日	ほっとかんアリーナ(北海道岩見沢市)
第54回日本太鼓支部講習会	2012年6月9・10日	箕輪町文化センター(長野県箕輪町)
第55回日本太鼓支部講習会	2012年7月14・15日	ますほ文化ホール(山梨県富士川町)
第56回日本太鼓支部講習会	2013年2月16・17日	日本財団ビル(東京都港区)

*詳細が決定次第、当財団ホームページや会報などで随時お知らせしていきます。

第5期公認指導員更新研修会の案内

規定により3年毎に行われる公認指導員の第5期更新研修会は、以下のとおり2012年度の日本太鼓全国講習会と北海道の支部講習会で併せて実施します。対象は2012年3月31日現在、1級技術認定員に降格中の公認指導員を含む220名となります。

- 第1回(第53回日本太鼓支部講習会)5月26日～27日(土日) ほっとかんアリーナ(北海道岩見沢市)
- 第2回(第44回日本太鼓全国講習会)7月21日～22日(土日) 大東コミュニティーセンター(岩手県一関市)
- 第3回(第45回日本太鼓全国講習会)11月17日～18日(土日) ホテル郡上八幡(岐阜県郡上市)
- 第4回(第46回日本太鼓全国講習会)3月2日～3日(土日) 新富町文化会館(宮崎県新富町)

*なお、この研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意ください。

*更新研修会の回答書をまだ返送されていない方は、至急事務局までご返送願います。(Fax.03-6229-5580)

2012年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、次の29事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<支部講習会> 5事業(海外含む)

5月26・27日(土日)支部講習会(北海道岩見沢市)	7月14・15日(土日)支部講習会(山梨県富士川町)
6月9・10日(土日)支部講習会(長野県箕輪町)	2013年
7月7・8日(土日)台湾太鼓講習会(台湾桃園県)	2月16・17日(土日)支部講習会(東京都港区)

<教職員太鼓研修会> 6事業

6月24日(日)宮崎県教職員研修会(高鍋町)	8月25日(土)宮城県教職員研修会(石巻市)
7月29日(日)群馬県教職員研修会(甘楽町)	8月未定(日)栃木県教職員研修会(宇都宮市)
8月20・21日(月火)島根県教職員研修会(出雲市)	11月23日(金祝)長野県教職員研修会(岡谷市)

<その他> 18事業

4月8日(日)第5回関八州太鼓まつり(東京都大田区)	11月4日(日)ジェアコンクール広島県大会(広島県広島市)
6月2日(土)金沢百万石まつり(石川県金沢市)	11月4日(日)台湾太鼓フェスティバル(台湾彰化県)
7月1日(日)東日本復興支援感謝太鼓まつり(宮城県登米市)	11月18日(日)ジェアコンクール道央大会(北海道江別市)
7月8日(日)北海道和太鼓サミット(室蘭市)	11月23日(金祝)道西支部設立10周年記念演奏会(岩見沢市)
7月21・22日(土日)第1回全九州和太鼓フェスティバル(大分県由布市)	11月24日(土)鼓どんどん2012(宮崎県清武町)
9月2日(日)ジェアコンクール秋田県大会(秋田県横手市)	12月未定 東日本大震災復興支援和太鼓フェスティバル(栃木県)
9月16日(日)東北太鼓フェスティバル(青森県三沢市)	2013年
10月21日(日)第2回佐賀県ジェア太鼓フェスティバル(佐賀市)	1月20日(日)第7回全九州日本太鼓ジェアコンクール(宮崎県宮崎市)
10月28日(日)2012岐阜県太鼓まつり(岐阜県郡上市)	2月17日(日)第3回雷童たいこ大会(福井県越前市)
10月28日(日)茨城郷土芸能継承者、育成者、太鼓コンクール(筑西市)	

★助成金6事業追加募集★

助成金交付事業は、1事業助成金20万円です。現在6事業の追加募集を行っております。

希望される支部は、財団事務局までお問い合わせ下さい。

日本太鼓財団 Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580 メール:info@nippon-taiko.or.jp

池田庄作副会長ご逝去＜戒名：尽鼓院釈了然＞ ～御陣乗太鼓と共に大活躍～

財団副会長で御陣乗太鼓の池田庄作氏が4月6日(金)にご逝去され、4月9日(月)に地元石川県輪島市の「セレモニー会館おおぞら天翔輪島」で葬儀が執り行われました。

多くの生花で飾られた遺影を前に、ご親族、ご友人、太鼓関係者を始め多くの方々が参列され、別れを惜しみました。

4月8日(日)の通夜では中西常務理事より感謝状が贈呈され、告別式では塩見和子理事長より弔辞が手向けられました。池田副会長のこれまでの足跡を紹介されるとともにご功績を讃えられました。

池田先生をしのんで

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 塩見和子

池田先生の悲報に接し、あまりのことにしばらくは信じることができず呆然とした思いでした。

最近ではお足が不自由になったこともあって、しばらくお顔を拝見する機会がございましたが、浅野・長谷川両副会長がつい最近お邪魔しました際には、お顔の艶も良くお元気であったと伺い安心していたところでございます。

日本太鼓財団は、今日、加盟団体800チーム、会員数22,000名となりましたが、この礎を作っていたのが先生でした。1979年、小口大八先生と共に全国の太鼓団体に呼びかけ説得し、当時の日本船舶振興会笹川良一会長に何度も日参し、ようやく実現したのが「全日本太鼓連盟」でした。その後、18年間の日本太鼓の普及・振興に向けた努力が通じ、1997年念願の文部省所管の「財団法人日本太鼓連盟」が誕生し、この4月1日付けで「公益財団法人日本太鼓財団」となりました。

このように小口先生と共に池田先生には本当にこれまで太鼓界を背負っていただき、新生太鼓財団の更なる飛躍をと思っていた矢先の先生のご逝去は、痛恨の極みであります。

先生が愛しておられた御陣乗太鼓の響きはこれからも先生の意思を継いで後世に伝えられるものと確信しております。また、日本太鼓のさらなる普及・振興に努めていくことが我々に残された使命であると深く肝に銘じております。

先生、これからもどうか日本太鼓財団の行く末を見守ってください。



2012. 4. 8(日)北陸中日新聞

池田庄作副会長略歴

生年月日：1921年12月9日生(90歳)

太鼓歴

1960年 御陣乗太鼓保存会を設立

1979年 全日本太鼓連盟の設立に発起人として参画
設立後、代表世話人に就任

1985年 石川県太鼓連盟を設立、理事長に就任

1992年 全日本太鼓連盟の副会長に就任

1996年 石川県太鼓連盟を法人化、理事長に就任

1997年 (財)日本太鼓連盟副会長現在に至る

2000年 スペイン公演に参加

受賞歴

1961年 御陣乗太鼓保存会が輪島市無形文化財指定

1963年 御陣乗太鼓保存会が石川県無形文化財指定

1985年 石川県文化活動奨励賞受賞

2004年 旭日双光章受章

現職

(社)石川県太鼓連盟名誉理事長 (現在)

全日本太鼓連盟副会長 (1992年～1997年11月)

(財)日本太鼓連盟副会長 (1997年11月～2012年3月)

公益財団法人日本太鼓財団 (2012年4月～現在)

御陣乗太鼓保存会 (1960年～現在)

訃報

故 堀江幸夫氏 (埼玉県)

故 星原辰夫氏 (千葉県)

日本太鼓の普及・発展のためにご尽力いただきました堀江幸夫氏(埼玉県支部会長代行・天馬太鼓代表)と星原辰夫氏(千葉県支部副会長・飛翔しぶき太鼓代表)のお2人が3月に相次いでご逝去されました。お2人とも当財団の事業に積極的にご協力いただきました。堀江氏は埼玉で行われたジュニアコンクールや講習会、星原氏には成田での全国障害者大会や成田太鼓まつりなどでのご活躍が目につかれます。

ここに生前のご尽力に対し感謝状を贈り、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。